

活動報告**講演会「フランス人による落語口演」**

Marco SOTTILE

11月19日（土）、国際コミュニケーション学部が「フランス人による落語口演」を開催しました。

このイベントは国際コミュニケーション学部 Marco SOTTILE 准教授による日仏の文化交流の促進を目的に開催しました。COOL JAPAN の文化交流の具体例として、本学初となる、日本在住フランス人 Cyril COPPINI 氏による落語口演（日本語とフランス語）とフランスにおける落語についてのトーク（日本語）を実施しました。

COPPINI 氏は2010年に大阪の落語家・林家染太氏との出会いをきっかけに本格的に落語を教わり、2011年に開催された「落語国際大会 in 千葉」に出場し3位を獲得しました。外国語で落語を演じる三遊亭竜楽のフランス口演のコーディネーターや通訳として同行し、落語の海外普及にも積極的に協力しています。2014年にはフランス・アヴィニョンで毎年開催される世界最大の演劇祭『アヴィニョン・フェスティバル』23日間連続で落語口演を行ったほか、落語をテーマにした漫画『どうらく息子』（小学館刊）のフランス語版も担当しています。

イベントでは、前座として本学落語研究会の学生が落語を口演しました。その後、COPPINI 氏が日本語や落語に出会ったいきさつ、フランスやフランス領ニューカレドニアでの落語の紹介の様子などを落語や軽妙なトークで紹介し、会場は笑いの渦に包まれていました。

